

## 記録を通して手術室看護の向上をはかる

中央手術部	発表者	伊藤 あい子
浜 孝子	滝沢 武子	深沢佳代子
高橋恵美子	西沢ミツ代	太田 君枝
溝上 みつ	上嶋 照子	羽場 直美
高山 好子	古平 慶子	浅井ヨシ子
西原三枝子	山本ひろ子	青木 欣久
沢谷ゆき江	小野千恵子	今村ちさと
牧 優子	丸山多美子	北原 緑

### はじめに

看護記録は患者看護の資料・法律的証拠書類・教育研究の資料としてその重要性は言うまでもなく、各病棟においては毎日当然のこととして行なわれている。しかし手術室においては麻酔医の術中記録用紙・病室からの送り票以外の独自の看護記録は、他の病院をみてもほとんど確立されていない現状である。当手術室ではS 44年に初めて記録用紙を作成し、何回か改良を重ねてきたが余り役に立たないなどの理由でほとんど使用されていなかった。しかし手術室看護をより高めていくには、基本にもどった看護記録を確立させることが大切なのではないかという意見が、みんなの気持の中でしだいに大きくなってきた。そこで全員が記録する習慣をつけるところから開始してみた。この研究はS 52年7月からS 53年6月までの全手術に対して行なわれたものである。

### 研究内容

#### 仮説1

全員で手術室看護記録を書く事により、スタッフの向上心が養われるのではないかと。

#### 方法

看護記録の必要性を話し合い、記録する事により、観察力・注意力を養い自主的な見方をしようと確認しあい、その上で後で利用できる書きやすい記録用紙を全員で検討し作成する。書かれた記録は1週間毎係が目を通し手術別にファイルにとじていき、未完成のものは注意を促し完成させる。

#### 結果1

図1を御覧下さい。これは手術室看護婦23名に対して行なった調査であるが、グラフからもわかるように、研究以前は24%の記録率であったものが記録用紙改良後は70%、90%と上昇してきている。

#### 結果2

自分の記録が保管され一資料となっていく事により、行なった看護行為が果して適切であったのかという反省をする兆しが見られ記録に対する評価の必要性を感じ始める。

#### 仮説2

ただ記録するだけでなく、評価し反省し合う事により個人差が少なくなり、スタッフ全体としてのレベルがあがるのではないかと。

#### 方法1

書かれた記録を客観的に評価する為に「より注意深く患者に目を向ける為に」と題してのアンケートを手術室看護婦に行ない、それをもとに看護基準を作成した。又、作成した基準を実際の場で行いかけていく為に、患者引き継ぎ時のチェックリスト用紙を作成し、更に入室から麻酔導入までの働きかけについて基準にのっとり実態調査を行なう。

—図1—

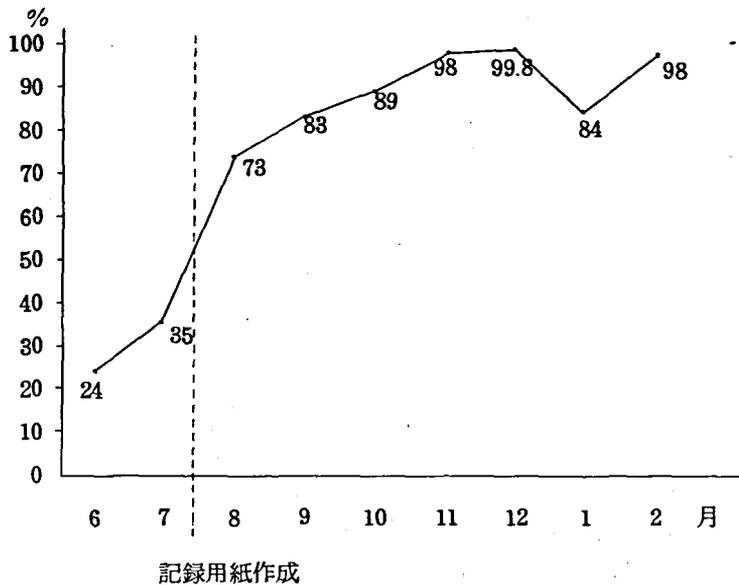
仮説1：全員で手術室看護記録を書くことによりスタッフの向上心が養われるのではないかと

方法 看護記録の必要性の話し合い

記録用紙作成

記録整理・保管

結果 1. 記録率の変化 —図1—



2. 記録の評価の必要性を感じ始める

#### 方法2

評価会の確立

第1段階 — 1週おきの土曜日に30分間ずつ任意に選んだ記録の読みあわせを行ない気づいた点を述べあうという評価会を持つ。

第2段階 — 症例別に各科の係があらかじめ総ての記録に目を通し、文献・医師などから手術室看護について必要な事柄を学びそれを発表した上で評価しあう。

#### 方法 3

記録について第3者がどのようにみているかを知る為に外科医・麻酔医に意見を聞く。

#### 結果 1

実態調査の結果バラツキがある為、入室から麻酔開始までのロールプレイングを行ない再度基準の確認をしあい、患者の精神面へも細かい心使いをするよう心がけた。チェックリストを使用してどう変化したかをアンケートの結果からみると、まず全員が使用してよかったと答えている。どんな点で便利になったかに対して「患者の情報をポイントを得てもれなく得ることができる」又「患者の気持についてより注意を向けるようになった」などの意見が多い。患者申し受けから麻酔がかかるまでの短時間のうちに必要な情報を収集し、患者の状態をすばやく観察し、計画を立て適確に対応する為にチェックリスト用紙が役立っているように思われる。引き継ぎ時間については表1を御覧下さい。手術の種類差・個人差などがあるため、ラフな値ではあるが、258例の手術について調査したものである。チェックリスト使用前に比べ倍以上の時間をかけて引き継ぎが行なわれている事は、より多くの情報が得られるようになった事を示すのではないかと。

#### 結果 2

記録の評価会の結果、観察不足であり、手術の進行状況・退室時の状態・看護行為の理由結果などの記載が不十分であると評価され全員が更におちのちないように記録してみた。図2を御覧下さい。これは評価会をもつ以前とその後の記録を比較したもので開腹手術100例ずつに対して行なったものです。意識レベルについては46→88% 特殊薬品使用時の理由結果については22→66% 実際に患者にふれてみて行なった看護については18→56%などのようにどの項目をみても記録されている率が多くなっている。これらのことは、評価会で問題点としてあげられた事項がよく記録されるようになった事を示す。

#### 結果 3

麻酔医より記録するだけにとらわれず患者により目を向けるような看護を行なうべきではないかと指摘を受けた為、再度話し合いをもちよい記録が書けるようになったと自己評価し、それに甘んじていた事を反省する。更に患者がより安全にかつ尊厳を保たれながら手術を受ける為に、私達は実際に患者にふれ、そこで判断し対処する事が重要であると考え、これからは今まで以上に患者に目を向け何を観察しどう対処したかを記録していこうと確認しあう。

#### 仮説 3

何を観察しどのように対処していったらよいかを常に考え更に行なった看護を評価しながら記録していくことが、看護の向上につながり、患者の安全につながっていくのではないかと。

#### 方 法

1. 麻酔チャートに重複して記載されている事項は極力省き行なった看護を観察・実施・結果という過程をふまえて記録する。

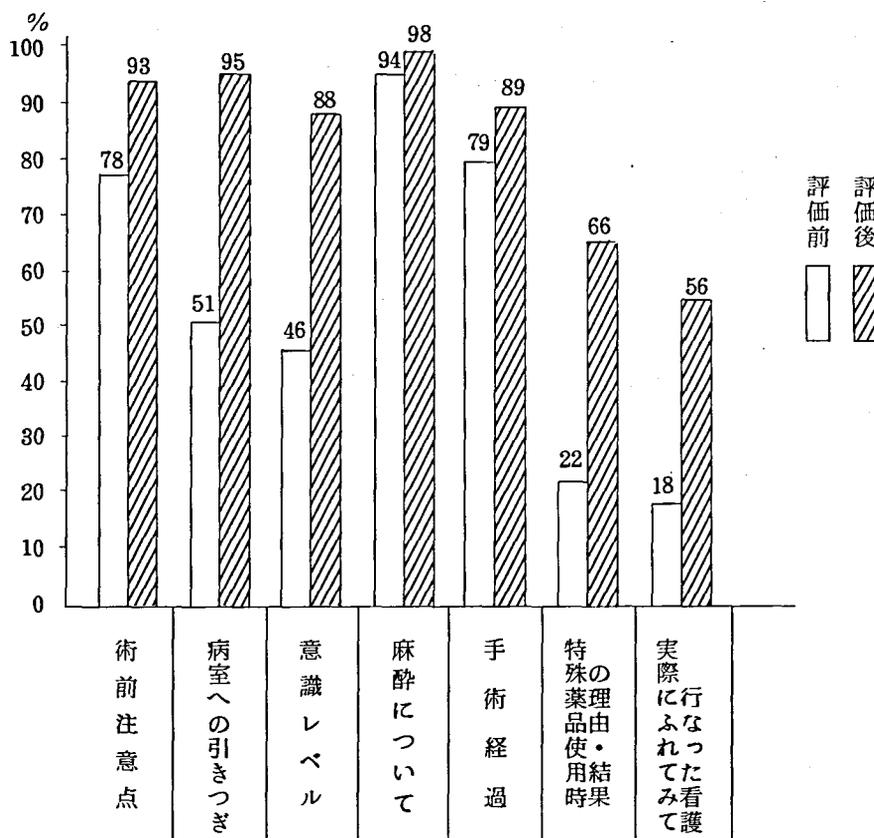
仮説2：ただ記録だけでなく、評価し反省しあうことにより、個人差が少なくなり、スタッフ全体としてのレベルがあがるのではないか。

- 方法 1. 看護基準作成      2. 評価会の確立      3. 外科医・麻酔医に記録についての意見をさく。

結果 1. 一表 1-1 引きつき時間の変化 (258 例)

	申し受け	申し送り
チェックリスト作成前 (55 例)	43"	44"
チェックリスト作成直後 (90 例)	2' 45"	2' 18"
チェックリスト作成 3ヶ月後 (113 例)	1' 34"	2' 05"

2. 一図 2-1 記録内容の変化 (開腹手術 200 例)



2. 今までの記録をもとに手術体位の基準を各科別にもうける。
3. 病室から術後の患者の状態についての情報を得てそれを参考としていく。
4. 他科の看護記録・観察項目などを参考に観察点をみい出していく。

以上の事を行なっている。

#### 結 果

研究期間内では3の仮説に基づき実施しはじめた時期なのでまだその結果を評価する段階には至っていない。しかしこの期間の記録を見ると何を観察し対処したのか以前より後で参考になる点が増えている傾向にある。

#### 考 察

この一年間1週間に1～2回ずつ勤務終了後話し合いを行ない手術室スタッフのレベルアップをめざして全員で努力を重ねてきた。手術室では特に患者の生命に直結している為厳正・敏速・着実な行為が必要とされ適切な判断と処置が重要である。その点とかく記録などが簡略化される傾向にある。そんな中で私達はよりよい看護を行なう為には行なった看護行為を記録し評価しそしてそれを次の手術に役立てていく事が重要であると考えてきた。現在では全麻・局麻を問わず総ての手術に対して記録し保管されている。各人の記録を評価検討する事により、他の人から学び吸収しながら少しでも先輩のレベルに近づこうと、又経験年数のある人は更によりよい看護を行なおうと努力している。

手術室において患者の安全をはかるために看護する事が当然である。そして質のよい看護行為に少しずつ近づくようこのように全員で努力することがレベルアップといえるのではないか。

評価会をより充実させたり又観察力を養う為の勉強会などがまだまだ不十分である。しかし不完全ながらもこの一年間収録した看護記録は3,000例もの手術を安全に行なうために役立っている。又アンケートの結果新人は全員がほとんどの手術前に記録に目を通し、手順・使用物品などを参考にし、余裕を持って手術に臨んでいると答えている。このことは新人教育にいかん記録が役立っているかを示している。

今後も記録を通してスタッフの向上心を保持し全員でよりよい手術室看護をめざしていくつもりである。

この研究にあたり御協力下さいました方々に感謝します。

#### <参考文献>

○看護記録の実際—記録の科学性をめざして—

編者：幡井さん 医学書院

○看護総論13 (系統看護学講座10)

湯槇ます 他 医学書院

○AORN Journal            1977年 9月号  
                                  1977年 10月号  
                                  1978年 2月号  
                                  1978年 4月号

○看護技術            '74 3月号

仮説3：何を観察しどのように対処していったらよいかを常に考え、さらに行なった看護を評価しながら記録していくことが看護の向上につながりさらに患者の安全につながっていくのではないかと。

=経過=

- S 52. 7. 12 K J法の考え方から“手術室において一番問題だと思っている事柄”についての話し合い→手術室における記録のあり方を考えなおし書きやすい用紙に替えていこう。
- 18～20 各自が自分なりに白紙に記録してみる。
- 22 各科係の話し合い—記録の整理方法—  
ファイルに各手術ごとに分類し保存、送り票はコピーする。
- 23 話し合い—前日決定事項の確認及び記録の意義と重要性について—
- 25 記録用紙作成（各自で）
8. 2 3 記録用紙内容検討（7. 18～20の28例について）
- 4 前日のくり返し、各自記録用紙の検討・作成案作り
- 5 記録用紙作成
- 8 整理方法の話し合い—土曜日に薬品係が整理 評価会係を決める。
- 9 記録用紙 使用開始（№1）
- 15 話し合い：評価会の方法について
9. 外野記録用紙の改正（№2）
10. 14 外野記録用紙記入上の統一、意識レベル追加  
話し合い、精神面への働きかけについて
11. 5 記入方法の統一を再度はかる
- 26 米国で検討されている手術記録を参考に勉強会をもつ。
- 28～29 アンケート作成 “より注意深く患者に目をむけるために”
- 30 配布説明
12. 1 アンケート収集
- 7～8
53. 1. 28 アンケートまとめ
- 3
- 7～20 外野看護基準原案作成（アンケートを資料とする。）
- 23 （全麻・腰麻・局麻のグループにわけて）
- 23 全麻基準の発表、チェックリストを作ろう、記録記入法再確認
- 24 チェックリスト用紙作成 全麻看護基準作成・配布
2. 13 } チェックリスト用紙使用
- 27 記録評価会：チェックリスト前後の比較
3. 4 外野記録用紙（2号用紙）原案の説明  
評価会のあり方・方法の再検討

S 53.3. 8	外野記録2号用紙作成、チェックリスト記入方法の統一(できるだけことばでかく)
17	評価会：チェックリスト以前の記録
4.15	評価会：Ⅱ外悪甲について 評価会のあり方一係が勉強した上で評価し合う
5.15	病棟看護婦へのアンケート
18	記録について麻酔医にきく。記録及び開腹手術について外科医にきく。
19	胃切の麻酔について
20	胃切の評価会
30	A4・B4(Ⅰ外・Ⅱ外の胃十二指腸) FI(子宮全摘)の記録
6. 8	内容変化のデータを出す
	引きつぎの評価(管理室～麻酔導入まで) チェックリスト改正(できるだけチェックのみでかけるように)
9	ロールプレイング
13	自己紹介の有無のチェック
	体位の基準作成
	記録方法の再検討

～より注意深く患者に目を向けるために～

- こんな時あなたはどんなことに注意していますか？(大人、小児と分けて)
  - ターバンを巻き、覆をかけかえる時
  - ストレッチャーでの移動、脱衣の時
  - 入室、ベッドへの移動時
  - 抑制、血圧計、ECGのセット、血管確保の時、電気メスの対極板をつける時
- こんな時あなたはどうしますか。又は、何と答えますか？
  - バルンカテーテルが入っている時、「おしっこが出たい！」と言う時。
  - 血管確保が困難で何回も針を刺さなければいけない時。
  - ストレッチャー上で、脱衣の時、患者が起き上がって脱ごうとする時。
  - 全麻の患者で「手術中、大便が出てしまったらどうしよう」ときかれた時
  - 腰麻の時の麻酔方法、体位の説明
  - T字帯をはずされることに抵抗を感じる患者にはどう対応するか
  - 母親から小児を受けとる時
  - 麻酔開始前、「ママのところへ帰りたいよう」と泣きわめく時
  - 会話可能な小児と話すきっかけ、内容  
具体的にどんなことばを使っているか  
exa. 「ボク、いくつ？」 「幼稚園へ行っているの？」

3. 局所麻酔時の看護

- ① 「手術中、トイレへ行きたくなったら困る」と心配する時
  - ② 患者を時間迄待たせておく時、どこへ、どの様な状態で待たせておくか。又、長時間待たせてしまう時どの様に対応するか。
  - ③ 麻酔の方法をどのように説明するか。
4. あなたが今迄に困ったこと（何と答えたらいいのかわからなかったり、どうしたらいいのかわからなかったこと）

あなたが他の仲間に質問したいこと。

あなたが工夫していることで仲間に知らせたいこと etc （失敗談も含めて）

全身麻酔看護の基準

術前

	行 動	注 意 点	観 察 点
病棟よりの引きつき	① あいさつ	◦お早ようございます。〇〇さんですね。よろしく。のあいさつをし、自己紹介のくせをつけたい。	◦前投薬、前処置の確認
	② 名前の確認	◦眠れましたか？	◦顔色、症状、顔貌などにより、重症度を判断し、緊急を要する時は、それなりに対処。酸素、輸血等の用意。
	③ 三角巾で頭部を覆う	◦「髪を包みます」目かくしは患者の希望をききながら、頭髪の出ない様に包む。	◦手術経験、既往症の確認
	④ 毛布をシーツに交換する	◦「毛布を取り換えます」と声をかけ、覆布にかえる。	◦現症状・注意事項の引きつき ◦言葉をかけ、その反応により前投薬の効果、不安の程度の察知をする。 ◦ヘアピン、時計、指輪、髪の手輪ゴムに注意 ◦義歯に注意するとともに挿管がしやすいかどうか見る。喉頭鏡の種類、特大、門歯欠損用、スタイレットの必要性。 ◦耳のきこえ、発声 ◦持参品の点検
	患者移動	◦「中へ行きます。動きますよ。」曲り角はゆっくり、目は閉じてもらう。角にぶつけない様声をかけ、振動を少なくし自動ドアの前まで移動。	◦皮膚の状態観察（傷、発疹） ◦剃毛ができているか。

	行 動	注 意 点	観 察 点
管理室前より移動・脱衣		<ul style="list-style-type: none"> <li>◦脱衣は黒板の病名を見られない様に注意する。(特にCa.など)</li> <li>◦人が通るので露出をさげ寝たまままで脱衣するように説明し袖を脱がせる。Nsは手をあらかじめ暖めておく。健側から脱がせ、チューブなど入っている場合、抜けないように注意。</li> <li>◦寒くないかたずねる。</li> <li>◦手はシーツの中に入れ、腹部で組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦血管確保は容易かどうか。</li> <li>◦四肢麻痺の有無</li> <li>◦関節の動きに異常はないか。</li> </ul>
手術室ベッドへ移動		<ul style="list-style-type: none"> <li>◦静かに手術室に移動し、ストレッチャーがずれない様、2人以上でおさえる。患者にベッドを示すか、手でさわらせて、協力してもらい移る。ベッドの狭いことも話す。前もってベッドはあたためておく。</li> <li>◦膝に抑制帯をかけることを話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦転落防止</li> <li>◦シーツにしわをつけておかない。</li> <li>◦上肢台をつけ、手を固定。</li> <li>◦抑制帯は、膝関節をおさえきつくないように。</li> <li>◦患者をひとりにしない。</li> <li>◦持参品をおろす。</li> </ul>
麻酔医入室まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦血圧計</li> <li>◦心電図</li> <li>◦脈 拍</li> <li>◦バッグカテ開放</li> <li>◦血管さがし、出ない時、あたたためる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦血圧計をつける時、心電図のプレートをつける時、冷たいです等声をかけて、緊張させない様にする。</li> <li>◦寒くないか、たずねる。</li> <li>◦前投薬の効果、患者の性格など察知し、患者の負担にならない程度の会話をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦手術に支障のない部分を選んでつける。</li> <li>◦血圧計はよく聞こえるか必ず確かめる。</li> <li>◦保温</li> <li>◦麻酔に必要な物品の点検は患者入室前に完了しおちのないように。特殊物品は患者を固定して、ひとりにしないようにし、取りに行く。</li> </ul>
導入、挿管まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦血管確保</li> <li>◦導 入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦注射をすることを告げ、一回で確保できるよう、Dr.Ns.Pt.協力する。失敗したらわびる。出血したらアルコール綿、テープで固定し、次を試みる。</li> <li>◦ラボナール、レラキシンの管注</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦点滴の固定、接続はしっかりし、途中でもれないように。手術によって延長管必要。</li> <li>◦ラボナール、レラキシンの管注時は、Drの指示により行なう。(記名)</li> </ul>

	行 動	注 意 点	観 察 点
導 入 ・ 挿 管 ま で	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦挿 管</li> <li>◦体位を決める</li> <li>◦消 毒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦電気メスの対極板装着</li> <li>◦直腸体温計挿入</li> <li>◦導尿（カテーテル接続）</li> </ul>	<p>する。量、種類をまちがえない。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦患者の意識消失を確認し、胸のシーツをとり、呼吸状態を観察できるようにする。</li> <li>◦筋弛緩の効果を見るため、足元を露出する。</li> <li>◦気管内チューブの固定。</li> <li>◦手術により、チューブの位置を決め、体位交換、手術などにより抜けることがないように、必ず2ヶ所固定。</li> <li>◦麻酔のO.Kを確認して、静かに体位を取る。</li> </ul>

術 中

<p>(1) 麻酔について 一般状態の把握</p> <p>① 出血について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦正確に計り報告 小児は頻回に。 成人は原則として50g単位。</li> <li>◦大量出血の予測と対処（輸血、薬品の準備）</li> <li>◦皮膚・爪等の観察・報告</li> </ul> <p>② 尿について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦正確に計り報告</li> <li>◦性状、流出状態の観察</li> <li>◦疾患により尿糖、尿蛋白等の検査</li> </ul> <p>③ 体温について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦時間毎のチェック</li> <li>◦体温の変化に応じて対処 （ウォーターマットによりあたためる、</li> </ul>	<p>冷やす。覆等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦体温計をきちんと皮膚へ固定しておく。</li> <li>◦直腸体温計がきちんと直腸にはまっているか確認。</li> <li>◦直接自分の手で皮膚に触れてみる。</li> </ul> <p>④ 補液について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦入る量のチェック</li> <li>◦ベニニューラの固定がきちんとされているか確認。</li> </ul> <p>⑤ 血圧について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦性状を把握し、予測、対処する。 （輸血、補液、薬品をすぐ使用できるように準備）</li> <li>◦出血量、尿量のチェックと報告</li> </ul> <p>⑥ 脈拍について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦性状を知る。（実際に手で触れてみる）</li> <li>◦必要薬品の準備</li> </ul>
--	---

<p>⑦ ECGについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○性状を知る。</li> </ul> <p>2. 諸検査の介助</p> <p>3. 皮膚の性状の観察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① チアノーゼの有無</li> <li>② 脱水の有無（カサカサしていないか） 実際に手で触ってみる。</li> </ul> <p>4. 適正な体位を保つ。</p> <p>神経麻痺、圧迫の予防の為、時間毎に各部位のチェックをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 仰臥位；上腕神経麻痺予防の為、上腕を開きすぎない。 かかとのチェックと対処。（円坐、マッサージ）</li> <li>② 側臥位；胸郭圧迫予防の為、下にくる腋窩にロールを入れる。体位の安定を保つ為、しっかり固定し、管理する。</li> <li>③ 腹臥位；眼球の圧迫をさける。胸郭の圧迫を防ぐ為ベッドと患者の間に間隙をつくる。</li> <li>④ 坐位；血圧下降防止の為、下肢に包帯を巻く。下肢のうっ血の有無の確認、腎部の圧迫の有無のチェック</li> </ul> <p>5. 麻酔器の点検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ソーダライムのチェックと交換</li> <li>○フローセン・ベントレン等、麻酔剤の補充</li> </ul> <p>6. 気管内吸引の介助 （滅菌水、又は生食、カテーテルなどの準備）</p> <p>7. 気管内チューブの管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 屈曲していないか</li> <li>② 接続がはずれていないか</li> <li>③ 気管内分泌物が貯留していないか</li> <li>④ きちんと固定されているか</li> <li>⑤ エアーもれはないか</li> </ul>	<p>⑧ 手術について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 不足物品の補充（器械、ガーゼ、糸等）</li> <li>2. 適正な照明</li> <li>3. 検査、器械、使用器械器具のセッティングとチェック （胆道鏡、イメージ、CVP、ストライカー、電気メス、バイポーラ、ファイバーイルミネーション、顕微鏡、ECG、チツ素ボンベ、カウンターショック等）</li> <li>① アース、対極板のチェック</li> <li>② 電源のチェック（耐容電流か、無理のない位置から取ってあるか）</li> <li>③ コードの確認（断線していないか）</li> <li>④ 器械、器具が正しく作動するか。</li> </ol> <p>4. 術野を清潔に保つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学生指導</li> <li>② 糸くず、ゴミを収容器に入れてもらうよう Dr. に働きかける。</li> </ul> <p>5. ガーゼカウント、器械カウントを正確に行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 紛失しないようにする。</li> <li>② 落ちたものはすぐ拾う。</li> <li>③ 紛らわしい使い方をしない。 （プローベ等は、込ガーゼに取る。）</li> <li>④ ガーゼは必ず収容器に入れてもらう。</li> </ul> <p>6. 術野の観察と進行状態の記録 進行状態を見ながら、次に必要な物品を準備し、術野に補充する。</p> <p>7. プローベ、摘出物の保管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 紛出しない。</li> <li>② オーダーに従い、保管する。</li> <li>③ 月日・科名・氏名の記入。</li> </ul> <p>8. チューブ類の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 胃チューブよりオーダーに従い吸引、内容物の性状、量の観察</li> <li>② 中心静脈栄養チューブ</li> </ul>
--	---

<p>決して麻酔導入路に使用しない。</p> <p>9. 床に落ちたゴミは気がついたら拾う。</p> <p>10. 必要に応じて手洗い水、鉗子立を交換する。</p> <p>(Ⅲ) 突発事故について</p> <p>1. すぐ人を呼び、非常ベルを鳴らす。 管理室へ連絡。</p>	<p>2. 記録をする(できるだけ詳細に)</p> <p>3. 緊急薬品の準備</p> <p>4. 記録できるECG、カウンターショックの準備</p> <p>(Ⅳ) その他</p> <p>1. オーダーされた薬品の再確認</p> <p>2. 常に整理整頓を心がける。</p>
---	---

術 後

<p>(Ⅰ) 当てガーゼ</p> <p>1. エアストリップ、ガーゼは創部を充分覆うようにする。</p> <p>2. ドレーン類は無菌的に包被されているか。 (大きさ、厚さなど)</p> <p>3. 清拭をして、血液、消毒液をふきとる。</p> <p>(Ⅱ) 抜管の準備と介助</p> <p>1. 準備</p> <p>① 口腔内、気管内吸引チューブ</p> <p>② 水道水や生食液、滅菌水</p> <p>③ 吸引(セットしてあるか確認)</p> <p>④ マスク、ゼリー、酒精綿、喉頭鏡</p> <p>⑤ 麻酔トレイ(完備されているか)</p> <p>2. 介助</p> <p>① 気管内感染防止、清潔なカテーテルを使用</p> <p>② 吸引分泌物の性状・量の観察</p> <p>③ ベッドからの転落防止; 抑制帯がしっかり結んであるか</p> <p>④ 呼吸、チアノーゼ、嘔吐、痙攣等の観察と対処</p> <p>⑤ 口唇、口腔内損傷の有無をみる。</p> <p>(Ⅲ) 麻酔覚醒状態、及び一般状態の観察</p> <p>1. 意識、反応</p> <p>① 呼ぶ、刺激を与える。(軽くたたく、つねる)</p> <p>2. 血圧、体温、脈拍</p> <p>3. 呼吸; 自発か否か</p> <p>4. 口腔、気道の分泌物の有無</p>	<p>5. チアノーゼの有無、顔貌</p> <p>6. 胃部の膨満の有無(もしも、膨満していたら、上から押し下り吸引して、内容物&lt;空気胃液、血液&gt;を出す。</p> <p>7. 身体チェックと対処</p> <p>① 褥創の有無</p> <p>② 対極板部の皮膚の状態 発赤→マッサージ 水疱→軟膏療法</p> <p>③ 抑制帯、器物による圧迫、損傷の有無</p> <p>8. 尿チューブの処理</p> <p>9. 排便していれば清拭する</p> <p>10. 胃チューブの処理</p> <p>11. セッティング物品の取りはずし(Drの指示による) ECGプレート、体温計、血圧計等</p> <p>12. 点滴の固定、活栓のキャップ</p> <p>(Ⅳ) ストレッチャーへの移動</p> <p>1. 介助依頼をし、静かに移動</p> <p>2. 枕をはずす</p> <p>3. 転落の防止</p> <p>4. カテーテル類(点滴、尿チューブ、ドレーン等)を引っぱらない。</p> <p>5. 着衣。充分におおう。シワをのぼす。</p> <p>6. 移動後の状態の変化に注意</p> <p>7. 保温</p> <p>8. 体位(特に整形外科などの場合)に注意しDr.からの指示を守る。</p>
---	--

<p>(V) 記録</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護記録</li> <li>2. 送り票</li> <li>3. 貸し出し物品</li> <li>4. Dr. よりのオーダーなど</li> </ol> <p>(VI) 申し送り</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Dr. よりのオーダー</li> <li>2. 持ち帰り物品の確認 (血液、摘出物、X-P、カメラ、カルテ)</li> <li>3. 麻酔方法</li> <li>4. 術式</li> <li>5. 使用薬品、輸液、輸血</li> <li>6. 出血量・尿量</li> <li>7. ドレーン、カテーテル</li> </ol>	<p>8. 術中の状態</p> <p>① 呼吸、血圧、脈拍、体温、分泌物など</p> <p>9. 麻酔覚醒状態</p>  <p>~~~~ メモ ~~~~</p>
--	--

### 評価会での意見

= 1段階 =

- 空白の欄を残したまま、とじこんである。
- 点滴は最終続行か抜去か記入した方がよい。
- どの部位にどの器械を使ったか、又追加器械を記入してほしい。
- わかりにくい手術は図もかいてほしい。
- 誤字が多い。
- 手術の進行状況がかかれていない。
- 観察が足りない。
- 全般的に処置が多くて個々の患者の看護がないのではないか。
- 自分だけにわかるような略語はよくない。
- 途中で記録が終わっている。きちんと記録してほしい。
- 用紙の裏にかいてあると、どんなに良いことが書いてあってもわからない。
- 失敗したことなども書いていく。
- 問題点に対して自分はどのように注意していったらよいかまで記入すべきだ。
- 手術経過が書いてない。
- 退出時の患者の状態がない。
- 徐脈の為、硫アト $\frac{1}{2}$ 、尿量少ないためラシックス $\frac{1}{4}$ A管注とあるが、その結果はどうなったのか書かれていない。

- 引きつぎ欄に「包帯きついかもしれないので 観察よろしく」とあるが、その後どうなったか知りた。 feed back させて行なった包帯のきつさを修得したい。
- 自分の看護計画の記入がほしい。挿管時、スタイレットを用意するのか麻酔医に注意点をきくということも計画のうちである。対応、観察、評価まで記録をしていきたい。
- 手術中の行なったことについては、やゝわかるが、患者については何もわからない。
- 導入までの患者の精神状態がかいてない。
- バックカテ挿入のオーダーがあったが入れずにきたと受けてあるが、何故入れてこなかったのかという理由がかかれていない。
- Hb(+)になっているが、どのように対処したのか。
- 術中看護していても記録がないと後で見た時どんな看護がされていたのか全くわからない。
- 記録されていることが単発的で何を意図して書いているのかわからないことがある。
- ウォーターマット回転前の体温が記入されていない。
- 尿量のチェックが手術終了時しかなされていない。尿チューブを接続し、しばらくした時点で測定すべきではないか。
- 緊急手術で看護上の注意点の欄に体温差が激しいと、記載されているにもかかわらず、測定されていない。検温しないまでも四肢冷感の有無などチェックすべきではないか。
- 学生が多勢見学しているため、患者不安(+)とかかかれているが、これにどう対処したかが記入されていない。
- 伝達事項の欄を生かすいい機会はないのだろうか。
- 左半身麻痺があり、右臀部に対極板をつけたことを記録して看護にあたったことはよい。
- 入室時の患者の意識状態、皮膚の色、尿の色、性状まで記録されていてよい。疾患との関連がよくわかる。
- 体温測定をして、低い時に体にさわってみて冷感がないことを確認して記録されてあり、よい。
- IVHからのラボナール注入禁止のことがかいてあった。
- レラキシンによる紅斑の消失時間など細かく記入されていた。
- 対極板の固定部位を記入してある。

= 2段階 =

- 点滴の部位 → ただ“手”だけでなく細かい部位も書く。
- そんなに長時間手術ではないのに補液が4000ml も入っている。その理由が書かれていればよい。
- 病室への引きつぎの欄、どこまで書いたらいいのか。
- 観察が不十分
  - 観察のしかたがわからない。
  - みていることをどうやって書いたらいいのかわからない。
  - よその良い記録をみた方がよいのではないか。

- 細かい観察のしかた、表現のしかたの勉強会をしよう。
  - ウォーターマットの温度を書いた方がよい。
  - 略語を活用しよう。しかも正しく!!
  - 注意点、状態観察がよく書いてある。
  - 最終を ○ で囲んであり、注目できる。
  - 外野記録をする位置を工夫しよう。
- (患者に対して、後ろ向きになってしまわないように。)

### 記録利用状況

#### 1. 手洗い記録について

	1年目(3人)	3～13年(17人)
手洗い前に記録を見たことがある	3	17
1) ほとんど	3	3
2) 時々		6
3) 初めて、又は久しぶりにつく時		8

- どういうところで役立っているか。
- <1年目>
- ① 手術手順を詳しく知ることができる。
  - ② 糸・器械など何をどのように使うか知ることができる。
  - ③ 使用材料、手順がわかり、手術内容が漠然とでも理解できる。
- <3～13年目>
- ① 手術は日々進歩しているのでしばらくつかないと変化している点がわからないので、そんな時利用できてよい。
  - ② 必要物品が手落ちなく準備でき、精神的に安心する。
  - ③ 手術開始前に不足物品を補充できる。
  - ④ 糸がむだにならない。
  - ⑤ 忙しい時、ひとりで学べる。
  - ⑥ Dr. による手術方法、使用器材の違いがすぐわかる。
  - ⑦ 手術の変化がよくわかる。
  - ⑧ 手術の流れや 忘れていた細かいことを思い出す。
  - ⑨ 手術の概略をつかみ、予想が立てられる。
  - ⑩ 一番新しい情報を知ることができる。

⑪ 器械出しが順調にできる。

2. 外野記録について(3-13年目、17人)

○外野につく前に記録をみたことがあるか?

あ る	15人	な し	2人
1) ほとん ど	1		
2) 時 々	7		
3) 初めて、又は久しぶりにつく時	7		

○ どういうところで役立っているか。

- ① 体位と配置
- ② 体位をとるのに必要な物品、又は特殊器具
- ③ 麻酔法(特に小児)
- ④ 全体の流れがよくわかる
- ⑤ 余裕をもって観察、処置しやすくなった。
- ⑥ 必要薬品
- ⑦ 準備が前もってできていれば、その場であわてることが少ない
- ⑧ 予測ができ、余裕ができる
- ⑨ 何枚か記録を見ることによって総合的に判断できる。
- ⑩ 安心感がある。
- ⑪ むだがなくなる
- ⑫ 何枚か見るうちに欲しいと思う要求をみたしてくれる。

チェックリストを使用してみた(3~18年目、14人)

○チェックリスト用紙を使用してよかったと思うか。

は い：14人            いいえ：0人

○どんな点で便利になったと思うか

(入室時)① 誰がチェックしても最低の状態が把握できる。

② 今まで気づかなかったことまで注意するようになった。

(特に患者の気持について)

- ③ こちらからのきき落としが少なくなった。
- ④ 落ちがないかと心配しないでもすむようになった。
- ⑤ 病棟の申し送りが良く変わってきた。
- ⑥ 観察点が明記されているため、ポイントがつかめる。
- ⑦ 引きつぎがスムーズになった。
- ⑧ チェックした事柄について頭の中で計画が立てられる。

- (退出時)① 忙しいと麻酔医に観察を任せてしまうことが多いが、チェックすることにより自分で退出時の状態を観察できる。
- ② 術中の状態及び術後の意識レベルがよくわかる。
  - ③ 患者の状態を順を追って申し送ることができ簡潔に送れる。
  - ④ 申し送りが要領よくスムーズに行なえる。
  - ⑤ 退出時の状態を注意深くチェックするようになった。
  - ⑥ 申し送りの落ちがなくなった。
  - ⑦ 病室への返品も落ちがなくなった。

○わずらわしい点

- (入室時)① ききながらチェックするのがスムーズでない。  
(チェック項目順と、病室から申し送る順がちがう)
- ② 全部のチェック項目にとらわれすぎて、時間を不必要にかけすぎることもある。
- (退出時)① 一番忙しい時と、チェックする時が重なってしまうため、実際にチェックするのは、患者退出後になってしまう。

~~~~ メ モ ~~~~





( チェックリスト 1 回目 )

| 手術室看護記録( 外野 )   |     | 年 月 日          |     | 患者氏名                          |  | 記録者名      |  |
|-----------------|-----|----------------|-----|-------------------------------|--|-----------|--|
| 入室時チェックリスト      |     |                |     | 退室時チェックリスト                    |  |           |  |
| 氏 名             |     | 現 症 状          |     | 当 ガ ー ゼ                       |  | 四 肢 冷 感   |  |
| 病名・術式・部位        |     | 既 往 症          |     | ド レ ー ン                       |  | チ ア ノ ー ゼ |  |
| 浣 腸 ・ 排 便       |     | 術前オリエテー<br>ション | 有無  | 消 毒 薬 除 去                     |  | 呼 吸       |  |
| 排 尿 ・ 留 置 カ テ   |     | 手 術 経 験        | 有無  | 最 終 体 温                       |  | 脈 拍       |  |
| 術 前 補 液         |     | 顔 貌            |     | 最 終 尿 量                       |  | 血 圧       |  |
| 摂 食 状 態         |     | ヘアピン・輪ゴム       |     | 顔 貌                           |  | 胃 部 膨 満   |  |
| マーゲンゾンデ         |     | 義 歯 ・ 化 粧      |     | 対極板部の皮膚の状態                    |  |           |  |
| 前 投 薬           |     | 指輪マニキュア時計      |     | 器物による圧迫損傷                     |  |           |  |
| 持 参 品           |     | 意 識 状 態        |     | 口唇・口腔内損傷                      |  |           |  |
| 血 圧 ・ 脈 拍 ・ 体 温 |     | 運 動 障 害        |     | 点滴の固定・活栓のキャップ                 |  |           |  |
| 聴 力 ・ 視 力 ・ 言 語 |     | 皮 膚 状 態        |     | 退 室 時 の 意 識 状 態               |  |           |  |
| 血 液 型           |     | 前 夜 睡 眠 状 態    |     | 普通の呼びかけで容易に反応する               |  |           |  |
| 輸 血             |     | 剃 毛            |     | 大きな声、体をゆすすることに反応する            |  |           |  |
| ア レ ル ギ ー       |     | 静 脈 の 状 態      |     | 痛みを加え呼びかけをくりかえすと<br>かろうじて反応する |  |           |  |
| 感 染 症           |     | 尿 の 流 出        |     |                               |  |           |  |
| 術前注意点及び特記事項     |     |                |     | 病室への引継ぎ事項                     |  |           |  |
| 麻 酔             | 体 重 | kg             | 身 長 | 手術室伝達事項                       |  |           |  |
|                 |     |                | cm  |                               |  |           |  |

(チェックリスト 2回目)

|                                 |         |          |    |                                                      |    |                    |    |     |  |
|---------------------------------|---------|----------|----|------------------------------------------------------|----|--------------------|----|-----|--|
| 手術室看護記録(外野)                     |         | 53年6月20日 |    | 患者氏名<br>○ 沢 ○ 男                                      |    | 記録者名<br>F          |    | O・K |  |
| 入室時チェックリスト                      |         |          |    |                                                      |    |                    |    |     |  |
| 氏名 年令 性別                        | ✓       | 持参品      | ✓  | 手術経験                                                 | ⊖無 | 義歯 口腔内部の状態         | ✓  |     |  |
| 浣腸<br>排便                        | ✓<br>⊖無 | 患者容態特筆   | ✓  | 術前オリエン<br>テーション                                      | ⊖無 | 指輪、マニキュア<br>時計、その他 | ✓  |     |  |
| 留置カテ<br>排尿                      | ⊖無      | 病名術式部位   | ✓  | 聴力・視力・<br>言語障害                                       | 有⊖ | 皮膚状態               | ✓  |     |  |
| 術前補液                            | ✓       | 輸血       | 6  | 運動障害                                                 | 有⊖ | 剃毛<br>術野の清潔        | ✓  |     |  |
| 摂食状態                            | ✓       | アレルギー    | 有⊖ | 前夜睡眠状態                                               | ✓  | 静脈の出具合             | ✓  |     |  |
| マーゲンゾンデ                         | ⊖無      | 感染症      | 有⊖ | ヘアピン<br>輪ゴムの位置                                       | ✓  | 排尿チューブから<br>の尿の流出  | ⊖無 |     |  |
| 前投薬                             | ✓       | 自覚症状     | ⊖無 | 眼鏡<br>コンタクトレンズ                                       | ✓  |                    |    |     |  |
| 血液型                             | A       | 既往症      | ⊖無 | 身長 152 cm                                            |    | 体重 44.5 kg         |    |     |  |
| 入室時の意識状態                        |         |          |    | 術前注意点及び特記事項                                          |    |                    |    |     |  |
| ふつうの呼びかけでははっきり答える               |         |          | ✓  | ・腹部痛々                                                |    |                    |    |     |  |
| ウトウトしているが呼べば答える                 |         |          |    | ・前回(10年前)OPeの吻合部潰瘍                                   |    |                    |    |     |  |
| ふつうの呼びかけでは容易に反応しない              |         |          |    | ・不安そうな様子(キョロキョロして<br>おちつかない)                         |    |                    |    |     |  |
| 退室時チェックリスト                      |         |          |    |                                                      |    |                    |    |     |  |
| 手術創の清潔                          | ✓       | 異常呼吸     | 有⊖ | 対極板部の皮膚の状態の異常                                        |    |                    |    | 有⊖  |  |
| ドレーンからの<br>流出状態                 | ✓       | 胃部膨満     | 有⊖ | 器物による圧迫損傷                                            |    |                    |    | 有⊖  |  |
| 四肢冷感                            | 有⊖      | 摘出物持参品   | ✓  | 口・口腔内損傷                                              |    |                    |    | 有⊖  |  |
| チアノーゼ                           | 有⊖      | 振せん      | 有⊖ | 点滴の固定・流入状態                                           |    |                    |    | ⊖無  |  |
| 退室時の意識状態                        |         |          |    | 病室への引き継ぎ事項                                           |    |                    |    |     |  |
| ふつうの呼びかけで容易に反応する                |         |          | ✓  | ○プローベ 1ヶ                                             |    |                    |    |     |  |
| 大きな声体をゆすることで反応する                |         |          |    | ○とれたMagen Dr.C持参                                     |    |                    |    |     |  |
| 痛みを加え、呼びかけをくりかえすと<br>かろうじて反応する。 |         |          |    | ○血液 400 ml 入                                         |    |                    |    |     |  |
|                                 |         |          |    | ○絆創膏かぶれのためか3Mテープ使用したと<br>ころが発赤している。あとで様子を見てくだ<br>さい。 |    |                    |    |     |  |

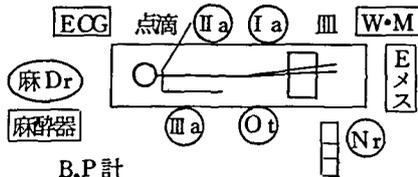
| 患者送票                          |       |                |           | R. I             |                                                             |                          |         |         |   |
|-------------------------------|-------|----------------|-----------|------------------|-------------------------------------------------------------|--------------------------|---------|---------|---|
| 53年6月20日(火)                   |       | 第一外科           |           | 氏名               | ○ 沢 ○ 男                                                     | 年齢                       | 72      | 性別      | 男 |
| 当日術前処置<br>絶食、高圧洗腸、バックカテ 16 Fr |       |                | 胃ゾンデ留置    |                  | 麻酔前投薬 7:30 セルシン 5mg P.O<br>8:30 硫アト 0.5mg (麻) オピスタン 35mg im |                          |         |         |   |
| 輸血                            | A 型   | 体位 仰臥位         |           | 持参品              | 温度表                                                         | カルテ                      | その他     | X線写真    | 枚 |
| その他患者容態特筆                     |       |                | BP 138~70 | T 36.2℃          | P 68                                                        |                          |         |         |   |
| 病名                            |       |                |           | 術式               |                                                             | ECG(I)5 h                |         |         |   |
| 吻合部潰瘍                         |       |                |           | 胃亜全摘除            |                                                             |                          |         |         |   |
| ①                             | 麻     | 開放式            | 閉鎖式       | パラ               | 胃空腸吻合(B II法、結腸後)                                            |                          |         |         |   |
| 酸                             | 素     | 900            | リットル      | ライ               | 局麻 腰麻 静麻 伝麻 硬膜外 V <sub>1</sub> (I)                          |                          |         |         |   |
| 筈                             | 気     | ガス             | 1040      | ム                | キシロカインゼリ-5g ウォーターマット使用                                      |                          |         |         |   |
| エー                            | テル    |                |           | 860              | 麻酔開始時間                                                      |                          | 終了時間    |         |   |
| ▽                             | ロー    | セン             | 40        | cc               | 9時 00分                                                      |                          | 14時 15分 |         |   |
| サイクロプロペイン                     |       |                |           |                  |                                                             |                          |         |         |   |
| ベントレン                         |       |                |           | cc               | (5° 15')                                                    | 9時 00分                   |         | 14時 15分 |   |
| 術中                            |       |                |           | 執刀時間             |                                                             | 終了時間                     |         |         |   |
| 術中尿                           |       | ショック           | 有無        | (4° 28')         |                                                             | 9時 32分                   |         | 14時 00分 |   |
| 500 ml                        |       | 出血             | 470 g     |                  |                                                             |                          |         |         |   |
| ドレーン                          |       |                |           | 術者               |                                                             | 助手                       |         |         |   |
| その他                           |       |                |           | A                |                                                             | B、C、D                    |         |         |   |
| ガーゼ                           |       | カウントOK 81枚     |           | 器械               |                                                             | カウントOK                   |         |         |   |
| 薬品使用                          |       |                |           |                  |                                                             |                          |         |         |   |
| 0.3g                          |       | ラボナール 1A       |           | 硫アト 0.5mg 2A     |                                                             | オパガーゼ                    |         | 100枚    |   |
| レラキシ                          |       | ン 40mg         |           | ワゴスチグミン 0.5mg 4A |                                                             | オプサイト                    |         | 4989 1枚 |   |
| ミオプロ                          |       | ック 4mg 3A      |           |                  |                                                             | デキソン                     |         | 3-0 1本  |   |
| ベンタガ                          |       | ストリン 2ml 1A(病) |           |                  |                                                             | エアーストリップ                 |         | 大1      |   |
| 輸血                            |       |                |           |                  | 補液                                                          |                          |         |         |   |
|                               | 新鮮血   | 保存血            | 計         | 品名               | 量                                                           | 方法                       |         |         |   |
| 予定量                           | 1,200 |                | 1,200     | ソルビット<br>ハルトマン   | 1,000                                                       | 点滴静注                     |         |         |   |
| 追加量                           | 0     |                | 0         | 5%デキ             | 500<br>(320)                                                | "                        |         |         |   |
| 使用                            | 400   |                | 400       |                  |                                                             |                          |         |         |   |
| 病室返し                          | 800   |                | 800       | 生食               | 2,000                                                       | 洗浄                       |         |         |   |
| 手洗看護婦氏名                       |       | 外野看護婦氏名        |           | 麻酔医              |                                                             | ワッセルマン<br>TB菌<br>ペニシリン反応 |         |         |   |
| E                             |       | F              |           | G                |                                                             |                          |         |         |   |

in  
8:50  
out  
14:20

(全麻 外野 2号用紙)

| 時間    | 体温尿          | 出血  | 補液       | 手術経過                 | 状態観察                    | 処置                                       |
|-------|--------------|-----|----------|----------------------|-------------------------|------------------------------------------|
| 8:50  |              |     |          | in                   | BP 140/90               | 血圧計右腕へ ECGつける                            |
| 9:00  |              |     | S.H<br>① | X                    | 寒くはない<br>とのこと           | 左手首より点滴確保→×<br>左手背から確保 V <sub>1</sub> にて |
| 10    |              |     |          | Ⓣ                    | 四肢冷感なし                  | ラボナル200mg RUSCH#36<br>レラキシシ 40mg air 4ml |
| 20    | 36.4℃        |     |          |                      |                         | ウォーターマットまわす<br>直腸温入れ Harn解放 流出良好         |
| 30    |              |     |          | 消毒<br>ドレーピング         | ガーゼ術前<br>カウント 8枚O.K     | Eメス対極板右臀部へつける                            |
| 32    |              |     |          | ◎                    |                         | カフairもれ 6mlに入れなおす                        |
| 40    |              |     |          | 開腹                   |                         |                                          |
| 50    | 250<br>36.3℃ | 13  |          |                      | 胃液流出良好<br>粘稠な黄白色        | IIa 位置かえ 患者の左腕圧迫<br>。注意!!                |
| 10:00 |              |     |          |                      | P72 緊張弱い                |                                          |
| 23    | 300<br>36.2℃ | 43  |          | 幽門部ハクリ<br>幽門下部にあるらしい |                         |                                          |
|       |              |     |          | プローベ1ヶ摘出             | →                       | ホルマリンビンへ                                 |
| 40    | 320<br>36.0℃ | 62  |          |                      | 身体やや冷たい<br>器物による圧迫みられない | ウォーターマット<br>43℃にて回転中                     |
| 48    | 350          |     | S.H<br>② | 前回のアナスト<br>モーゼはずす    |                         |                                          |
| 11:00 |              |     |          |                      |                         | Mゾンデ吸引 黄色<br>5mlひける                      |
| 20    | 390          |     |          | ゲフリール 8ヶ出す           |                         |                                          |
| 21    |              |     |          | 胃液分泌を調べる             |                         | ベンタガストリン<br>1Ai.m (左肩)                   |
| 12:00 |              |     |          | ゲフリール結果でる            |                         | 肩冷たいのでタオルをかける                            |
| 10    |              | 156 | 5%<br>デキ | 大ベツツかける<br>(Magenに)  |                         |                                          |
| 15    |              |     |          |                      | 胃液血性<br>(暗かっ色)          | Mゾンデ吸引                                   |
| 20    |              | 296 |          |                      | 出血 サラサラした感じ 色うすい        |                                          |
| 30    | 400          | 326 |          | 幽門側へ<br>小ベツツかける      |                         | Magenとれ開いてみる (Dr.H)                      |

体位 配置



右腕は体幹に固定  
幅広包帯・タオル使用



## ( 手 洗 い 記 録 )

| 手術室看護記録(手洗い)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |     | 53年6月20日 |   | 患者氏名<br>○ 沢 ○ 男 |         | 記録者名<br>E. O.K |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|----------|---|-----------------|---------|----------------|--|
| 縫                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | B.S  | 40m | 巻        | 特 | 西端鉗子 D          | 疑問点とその答 |                |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 1    | 2   |          | 殊 | オブサイト           | なし      |                |  |
| 合                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 0-1  | 2   |          | 使 | 4989            |         |                |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 0-2  | 2   | 2        | 用 |                 |         |                |  |
| 材                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 0-3  | 4   | 1        | 器 |                 |         |                |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 0-4  | 6   | 2        | 材 |                 |         |                |  |
| 料                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | デキソン | 3-0 | 1        |   |                 |         |                |  |
| <p>手洗手順</p> <p>消 毒 イソジン オブサイト 4989 覆 開腹式</p> <p>皮 切 21号メス 止血 並直コップェル 結紮4-0</p> <p>皮 下 筋膜 筋層 腹膜まで一気に21号メスで切開 開腹になってしまふ</p> <p>開 腹 ミクリツで把持 直剪で拡大 四角に小ハンカチミクリツではさみなおし布鉗子4ケでとめる</p> <p>開腹鉤をかける 吸引(日影氏) 腹腔内視診・触診</p> <p>剥 離 幽門部(前回アナストモーゼ部?)より剥離<br/>並曲ベアン、太モス、ケリーなどで剥離 二重結紮 3-0 or 2-0 B.S<br/>メーヨー剪刀にて両側剥離 糸の長さは深さに応じて調節<br/>癒着してなかなか剥離できず、食道部付近まで剥離</p> <p>胃生検 2号丸針 3-0 B.Sで4針胃部に支持糸をかけ各々並直ベアンでとめてつりあげる<br/>11号メスで漿膜切開、メーヨー剪刀で筋層、粘膜切開、日影氏吸引管で内容吸引<br/>腸ペラ太2本 2号筋鉤で開創3ケ所より西端氏Dで組織採取(ゲフリールへ)<br/>3-0 B.S 2号丸針で縫合</p> <p>胃液分泌検査<br/>ベンタガストリン 1 A i. m (外野より) 20~30分後試験紙を胃内へ入れてPH度を見る。<br/>血液がついたりしてはつきりせず Dr. ギブアップ!!<br/>胃液分泌は少ないとの結果のみ得る。</p> <p>胃縫合 3-0 B.S 2号丸針で連続2層に<br/>ゲフリール 結果よりさらに噴門部深く剥離</p> <p>胃切断 噴門部に大ペッツかけ切断 残部丸針2号 3-0 B.Sで縫合 切除部は小ハンカチでつつむ</p> <p>十二指腸折断: 前回吻合部より下へ小ペッツかける</p> <p>腸間膜切開(11号メスベアン止血 縫合結紮 3-0 B.S)し空腸を通して胃空腸吻合、ドワイヤン<br/>大直 大曲をかけアナストモーゼ レンベルト縫合 4-0 B.S 2号丸針<br/>アールベルト縫合 デキソン 3-0</p> <p>洗 浄 温生食</p> <p>閉 腹 2層 7号角針 B-S 1 (腹膜・筋膜)<br/>// B-S 0 (皮フ) エアーストリップ大</p> |      |     |          |   |                 |         |                |  |
| 手術室伝達事項                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |     |          |   |                 |         |                |  |
| なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |      |     |          |   |                 |         |                |  |